

既刊案内 (特集・主要記事)

[3月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.28」京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻(水環境工学分野) 准教授 西村文武氏を訪ねて AIの活用で下水処理を最適化し流域全体のスマート化を目指す…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「海外レポート」3度目のベトナム、続けて2回インドネシア…国土交通省 下水道部長 森岡泰裕 ◎清野馨氏、石狩市水道担当部長就任から1年 人材育成、基幹施設耐震化、災害対応など この1年の動向を探る…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎第3回沖繩水勉強会 菊池明敏氏を招き開催…月刊コア編集部 ◎「読者のまなざし」最近の「コア」を読んで…元東京都水道局長・元日本水道協会専務理事 川北和徳 ◎素形産業分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針…法務大臣・国家公安委員会・外務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣 ◎「陸上・水中レーザードローン」現場実装…国土交通省 ◎平成31年度予算案における環境保全経費の概要について…環境省 ◎住宅内の室温の変化が居住者の健康に与える影響とは? 調査結果から得られつつある「新たな知見」について…国土交通省 ◎「儲かる中小企業人手不足に負けない111のポイント」を発行…経済産業省 ◎「明日への道標」一輪の朝顔のごとく〜千利休もてなしの極意〜…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎差込型管継手「タスカルジョイント」の紹介…(株)多久製作所 江口俊和 ◎東京プラリルポ 豊洲の新設市場を見学…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第9回)…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話」大きい? 小さい?…低空飛行機 ◎新・撮った写真が5万枚! ◎…IDE研究所 いでこうじ ◎建築着工統計(2018年12月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[4月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.29」東洋大学総合情報学部 総合情報学科 教授 大塚佳臣氏を訪ねて 心理統計学、計量経済学など複数の手法を駆使して社会・環境問題の解決に取り組む～廃棄物リサイクルの現場から東大都市工学を経て社会学的アプローチへ…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎水素・燃料電池戦略マップを策定しました…経済産業省 ◎地域経済循環分析ツールの改定について…環境省 ◎「建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定…国土交通省 ◎「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定…国土交通省 ◎平成29年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果(確報値)について…環境省 ◎住宅ローン、変動金利型…国土交通省 ◎フロン類の廃棄時回収率向上に向けた対策の方向性について…産業構造・中央環境審議会 ◎平成31年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します…厚生労働省 ◎「明日への道標」パラノイアだけが生き残る〜アンドロイド・グループの妄想〜…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」どうする? 地方小規模水道(1) 富良野高校×北海道総研×北大の取り組み…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎★いま注目のLIXILショールーム—PART 3—…月刊コア編集部 ◎「東京プラリルポ」東武沿線 ハッピーロード大山商店街(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第10回)…弁護士 野平大魚 ◎新・撮った写真が5万枚! ◎…IDE研究所 いでこうじ ◎「見てきたような話」女性が好きなの男のタイプ…低空飛行機 ◎建築着工統計(2019年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子



編集雑記

五月晴れの空を見上げていると遠い記憶の彼方から『こいのぼり』の歌声が聴こえてくる。「屋根より高い鯉のぼり 大きい真鯉はお父さん 小さい緋鯉は子供たち おもしろそうに泳いでる♪」。作詞・作曲者は不明のまま1931年に刊行された『エホンショウカ ハルノマキ』に掲載された。

鯉のぼりは中国の故事・登竜門に由来している。竜門という険しい滝を鯉だけが登り切って雄大な竜になる。男の子の立身出世の象徴として江戸時代の町人たちが端午の節句に飾るようになった。端午の節句は薬草の菖蒲やヨモギを摘む厄払いの行事で菖蒲が武勇を尊ぶ尚武に通じることから、武士の家では跡取り息子の成長を祝って武者人形を飾ったり、家紋入りの幟を立てた。

わたしは子供心に『こいのぼり』の歌詞になぜ「お母さん」が出てこないのか疑問に思っていた。いまなら家父長制という当時の世相を反映していたことがよくわかる。国文学者の父、音楽教師の母を両親に持つ作詞者の近藤宮子は日中戦争が勃発する暗い時代に『こいのぼり』『チューリップ』『オウマ』などの明るい作風の歌詞を紡ぎ上げた。

戦後、日本音楽著作権協会が無名著作物の作者に著作権の登録を呼びかけたときも彼女は沈黙を通していた。ところが著作権使用料を主要な財源とする日本教育音楽協会の重鎮が自分の作品として登録してしまう。嘘はいけないと彼女は76歳のとき提訴し、10年後の1993年ようやく作詞者として認められた。無欲から生まれた無名の歌は子供たちに脈々と歌い継がれている。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第354号

令和元年5月10日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884